

神奈川県立金沢支援学校 学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立金沢支援学校 第1回学校運営協議会・学校評価部会・学校設置部会		
開催日時	令和8年6月10日(水)		
開催場所	金沢支援学校 会議室		
(役職名) 出席者	令和8年度金沢支援学校 学校運営協議会委員11名(本校校長を含む) 令和8年度金沢支援学校 学校運営協議会事務局教職員12名		
次回開催予定日	令和8年10月20日(火) 予定		
問い合わせ先	金沢支援学校 副校長 原島 典子 電話 045-770-0456 Fax 045-775-4121		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過	<p>内容：令和8年度金沢支援学校 学校運営協議会委員11名から、会長の選任および今年度の学校運営に係る1～2について承認をいただいた。3について事務局から説明し、ご意見をいただいた。</p> <p>1 学校運営協議会(運営計画、令和8年度金沢支援学校グランドデザイン・学校運営組織)</p> <p>2 学校評価部会(学校教育計画、令和8年度学校目標、各部門・学部・グループの取組計画)</p> <p>3 切れ目ない支援部会、学校防災部会</p>		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度第1回学校運営協議会・学校評価部会 次第 ・学校運営協議会委員名簿 資料1 学校運営協議会運営計画書 資料2 令和8年度金沢支援学校グランドデザイン 資料3 令和8年度金沢支援学校 学校運営組織 資料4 学校教育計画 資料5 令和8年度金沢支援学校 学校目標(参考資料①②) 資料6 学部・部門・グループ教育目標 資料7 切れ目ない支援部会 資料8 学校防災部会 		
議事録	<p>1 学校長挨拶</p> <p>昨年度に引き続き、学校評価部会、切れ目ない支援部会、学校防災部会を設置する。いただいた御意見については、可能なものは必ず実行する。昨年度は、ロッカーの転倒防止対策、3社以上の見積もりによる予算の執行、スクールバスの防災物品配備について御意見を頂戴し、実際に実行した。スクールバスの防災物品については、海洋電子工業様から寄贈いただいた。深く感謝申し上げます。</p> <p>今年度の重点的な取組は2点で、1点目は昨年度に引き続き「働き方改革の推進」。時間と心にゆとりを持つことで教育の質の向上を図る。2点目は、「共生と防災の推進」。この地域在住の子どもたちの学校であることを知っていただき、お力を貸していただくための取組である。本日は限られた時間だが、忌憚なくご意</p>		

見いただいて、より良い学校運営につなげていきたい。

2 委員及び事務局（学校職員）自己紹介

横浜国立大学教職大学院 連携教授 林正直 委員

海洋電子工業株式会社 代表取締役会長 榎本英雄 委員

東芝ウィズ 管理部長／業務部長 新徳恭久 委員

横浜市南部地域療育センター通園課 園長 萩原実奈子様

いそご地域活動ホームいぶき 施設長 加古川昌子 委員

富岡東中学校 校長 浅尾慎一 委員

横浜水取沢高等学校 校長 唐川和彦 委員

並木第一小学校 校長 松崎由里子 委員

金沢シーサイドタウン富岡団地 自治会長 古川正毅 委員

金沢支援学校PTA 会長 相澤鈴子 委員

金沢支援学校 校長 柏木雅彦 委員

原島（副校長）、鈴木（教頭）、後藤（教頭）、山本（事務長）、吉田（教務GL）、安藤（連携支援GL）、柴田（総務GL）、田尾（指導健康GL）、岩田（A部門長）、（B部門長兼中B学部長）、遠藤（分教室長）

3 会長選出 林正直委員 ⇒承認

4 学校運営協議会

（1）学校運営協議会運営計画（資料1）

（2）今年度の学校運営について（資料2・資料3）

＊令和8年度金沢支援学校グランドデザイン（資料2）

＊学校運営組織（資料3）

・今年度は知的障害教育部門の部門長と中学部長を兼務

5 学校評価部会

（1）学校教育計画（資料4）

・4年計画の3年目。各視点における充実を図っている。

（2）令和8年度学校目標（資料5）

・働き方改革を推進し、教職員の心理的な安定を図り、児童生徒にもより安心して学習に取り組めるようにしていく。昨年度の学校防災部会で提言があった内容を、環境整備や避難訓練等の計画に盛り込んでいる。

・昨年度の学校目標等の資料をもとにAI（ノートブックLM）を使って作成した資料（参考①②）について林会長より説明。

（3）各部門・学部・グループのより（資料6）

○肢体不自由教育部門

個別教育計画の作成について、「切れ目のない計画」を目指し、必要に応じて計画を随時変更するようシステムを変更する。連絡帳を活用し、保護者との相談及び共有を図っていく。

○知的教育部門 小学部

地域と関わる授業実践の定着やICTの活用、専門職との連携により、発達段階に応じた系統性と児童一人ひとりのニーズに応じた支援を充実を図る。

○知的障害教育部門 中学部

「中学部3年間で身に付けさせたい力」について学部研究を通じて検証と整理をする。学部内縦割りで行う作業学習を通じて考えていきたい。

○知的障害教育部門 高等部

地域の多大な協力を得て学習を進めている。学習の定着を目標に学校生活の集大成としての経験を積み重ねる。進路に向けた教育活動の充実を図る。

○知的障害教育部門 高等部 氷取沢分教室

社会参加につながる学びとして、出前授業による進路学習、職業実習、コミュニケーション学習に力を入れる。ICTを活用した主体的に学ぶ環境づくりや地域・企業・大学等との連携を意識し、働くために必要な力を付けていく。

○教務グループ

経験の浅い教員も増えた。持続可能な学校運営に向けて、教職員の願いや思いをもとに課題を整理し、他校の事例も参考に課題解決を図っていく。

○指導健康グループ

突発的な対応が日々求められる。安全性と効率のバランスを図りながら業務を整理していく。業務が属人化しないような仕組みも検討していく。

○総務グループ

会計管理と情報管理の面から課題であった写真プリントについて、業者一括委託の仕組みを今年度中に整え、令和9年度から導入できるようにする。

○支援連携グループ

校内外の教員に向けた情報発信、巡回相談等を通じたニーズへの支援、保護者に向けた進路情報の提供、地域との協働活動等を通じセンター的機能を発揮する。

質疑（・）応答（⇒）

- ・日中に正門が開いていることがあるようだ。防犯面で気にかかっている。
- ・校内で動物（ハクビシン？）の糞を見かけた。衛生面や安全面から注意が必要ではないか
⇒承知した。確認する。
- ・目標の数値化を図ってもらいたい。簡易的なものや間接的なものでもよい。困難度と併せて提示するとよい。評価がしやすくなる。
⇒学校目標と連動した保護者アンケートもあるので、併せて検討していく。
- ・AIを活用するとよい（会議録や目標設定）。
⇒今後に向けて検討する。
- ・個別教育計画を都度見直すことは理想である。参考にしたい。連絡帳の活用による保護者との合意形成についてももう少し知りたい。
⇒個別面談があるがスパンが長い。連絡帳で平時の内容から伝えていく。このサイクルが教員の指導にも活かされる。連絡用の書式を検討中。
- ・子どもには学校でいろいろチャレンジ・失敗してもらいたい。保護者と教員が日々相談しながら進めてもらいたい。日々のやり取りこそ大切だと思う。

6 設置部会

(1) 切れ目ない支援部会

「つながり」をキーワードに、これまでやってきた取組や今も続いている取組について、目的や内容を見つめ、意味や価値を大切に展開・充実を図ってい

く。学校と地域がつながる取組を通じた相互理解の推進や地域の支援ニーズの把握も進める。また、保護者の視点やPTAの取組からの広がりにも期待したい。

(2) 学校防災部会

備え、応急対応、復旧、復興といった各フェーズの観点から、地域防災と学校防災をつなぐ活動についての検討をしていく。様々な場面を想定し、アイデアをもとに実際の動きを伴う対策を考えることを重視していく。

○校長より

- ・7月24日に「特例子会社を知る日」を開催する。小中学校の段階から参加し、将来を見据えてもらえるとよい。
- ・バスにGPSを配備する。新しいバスには配備済みであり、夏休みを目安に残りのバスにも配備する予定。

意見交換

- ・学校の様子を知るために、交流の機会がもっとあってもよいと思っている。また、防災についても、日頃の備えについて互いの取組を参考にしたい。スクールバス車内の防災グッズを見せてほしい。
➡実際のカバンと中身をお見せする。
- ・職員が学校を見学させてもらい、支援を考える機会となった。昨年度は、バス送迎中に災害に見舞われたが、訓練したことが活きた。学校の訓練内容を参考にしたい。

7 会長挨拶

「応援隊」をキャッチフレーズに進めていきたい。ICT活用については、子供と向き合う時間や教員のゆとりを生み出す重要なツールであり、ぜひ導入を検討していただきたい。また、防災に関しては地域とのつながりを深めるために相互理解が不可欠であり、「お互い様」の精神を共有することが重要だと考える。目標の数値化については、具体的な数値を設定することで狙いを明確化し、共有するのは重要なことだと思う。保護者との関わりでは、連絡帳を活用して年間の重点目標を共有することで、日々の取り組みがより効果的になった経験がある。今後も支援学校のために何ができるかを考えながら取り組んでいきたいと思っている。

以上